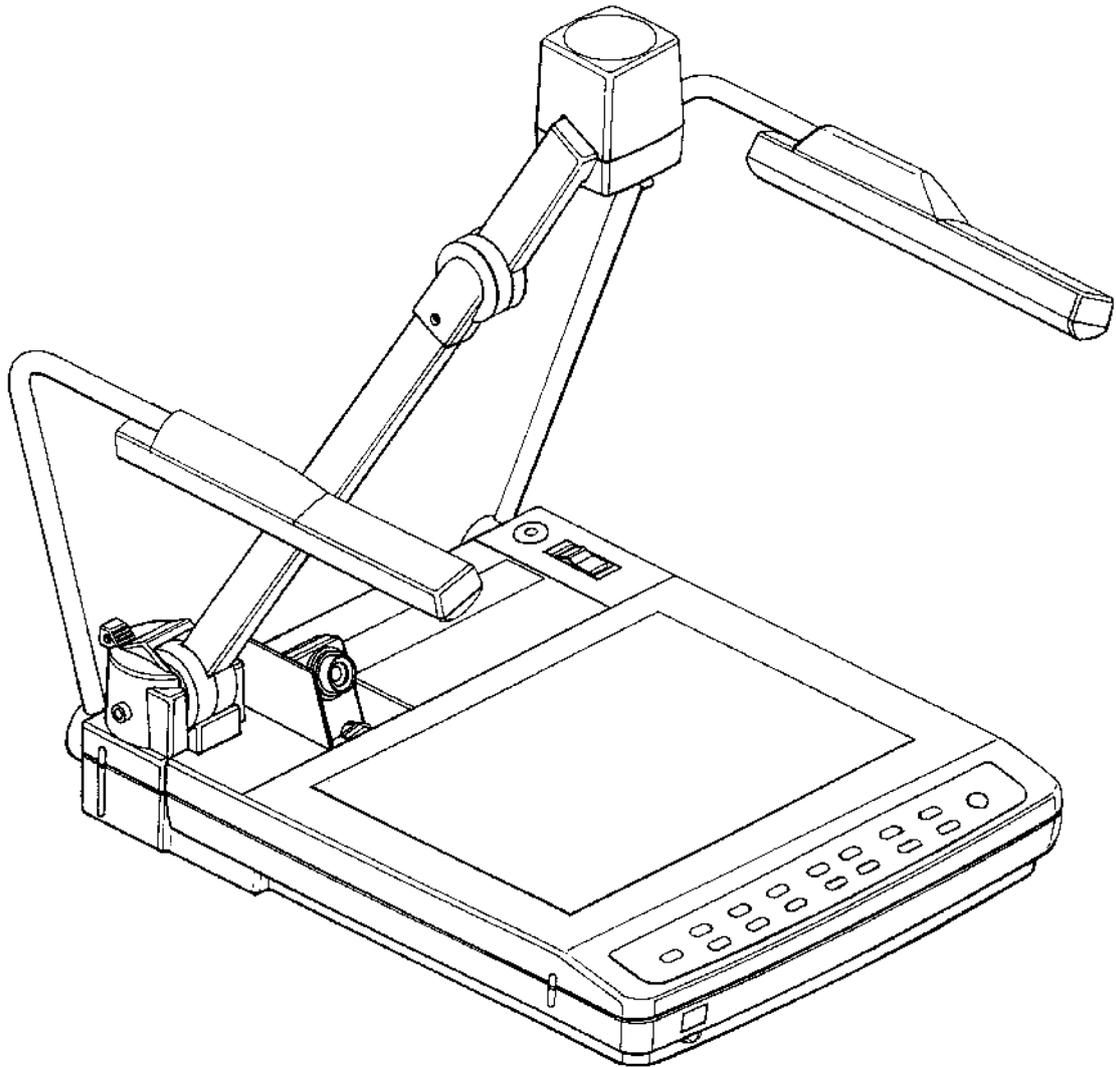


**ELMO**

ビジュアルプレゼンター

**EV-601AF**

取扱説明書



ご使用に先だち取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保存してください。

SI

# 安全上のご注意

## 安全にお使いいただくために — 必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の意味

 △は、注意（警告を含む）を示します。  
具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。  
左図の場合は、「感電注意」を示します。

 ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。  
具体的な注意内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。  
左図の場合は、「分解禁止」を示します。

 ●は、強制（必ずすること）を示します。  
具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。  
左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示します。

## 警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。  
(特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。)



画像が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に、交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



機器の、裏ぶた、キャビネット、カバーは、外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。



機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



## 警告

<p>表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。</p>	禁止 
<p>機器に水や異物が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。 火災・感電の原因となります。 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。</p>	禁止 
<p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。）</p>	禁止 
<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>	禁止 
<p>風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。</p>	禁止 
<p>電源プラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ほこりをとってください。 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。</p>	注意 
<p>雷が鳴り出したら接続ケーブルや電源プラグには触れないでください。 感電の原因となります。</p>	接触禁止 
<p>機器本体の電源コンセント（電源出力）は表示されている電力容量（電流容量）を超える接続をしないでください。 火災の原因となります。</p>	禁止 

## ⚠ 注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、移動してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜く



お手入れや蛍光灯交換の際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて、ランプや機器が熱くないことを確認してから行ってください。また、ランプは指定のものをお使いください。感電・火傷・火災の原因となることがあります。

注意



機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災の原因となることがあります。

プラグを抜く



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いてください。

禁止



キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。  
動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。

禁止



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止



この機器に乗ったり、重いものを乗せないでください。特に、小さなお子様のいるご使用環境ではご注意ください。  
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。  
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となることがあります。

禁止



## 使用上のご注意

- 本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。  
電源およびテレビ信号規格の異なる外国ではご使用になれません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。  
変色、変形、故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。  
使用上の環境条件は次のとおりです。  
温度：5℃～40℃      湿度：30%～85%以下（結露しないこと）
- 本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。  
シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- カメラレンズを直接太陽に向けしないでください。撮影不能になることがあります。
- 乾電池についてのご注意
  - ・長時間使用しないときは、取り出してください。
  - ・充電式乾電池（Ni-Cd）は使用しないでください。
  - ・新旧、異種の乾電池を混用しないでください。
  - ・充電したりショートさせたりしないでください。

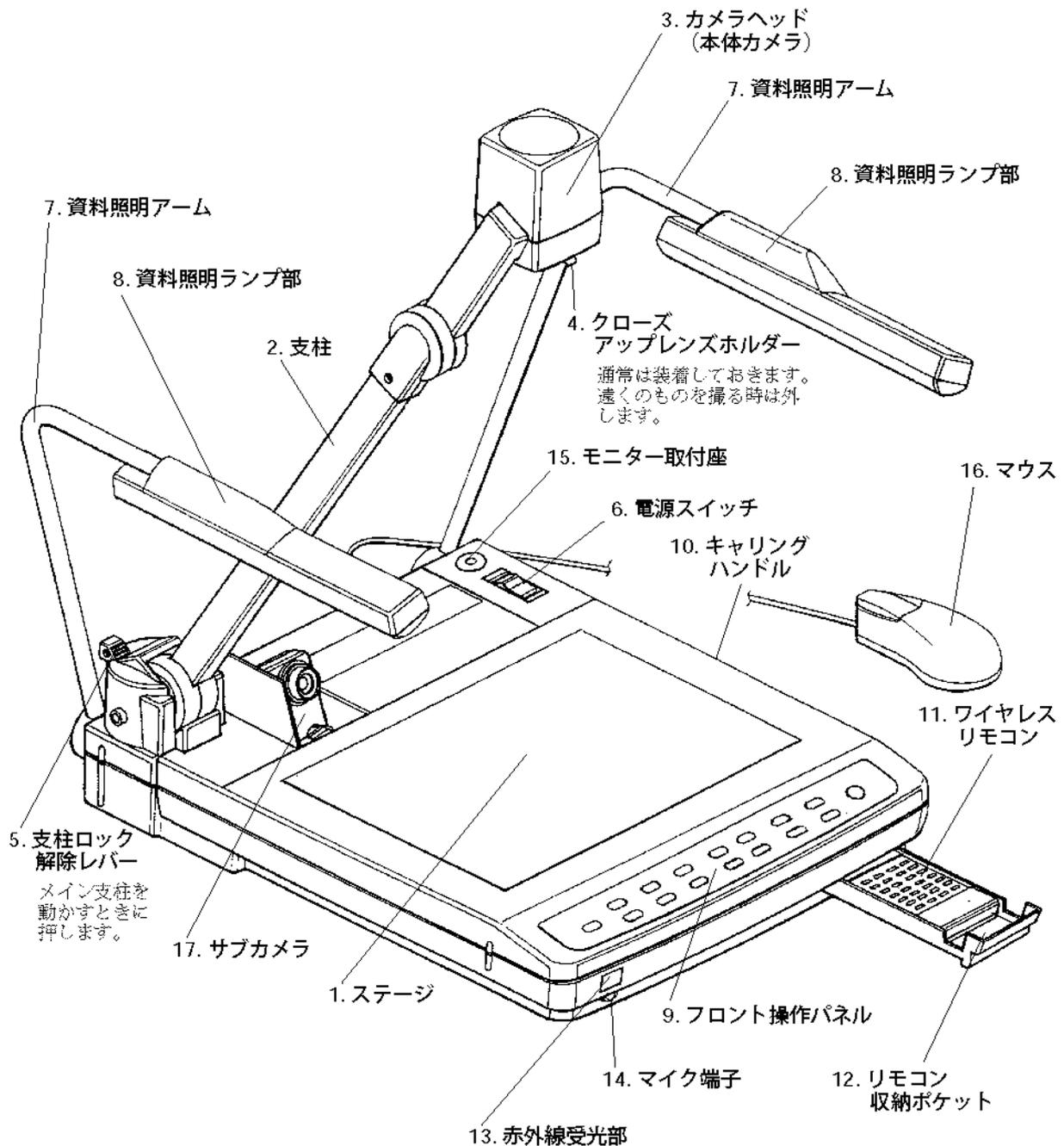
# もくじ

1. 各部の名称	8
外観	8
サブカメラ	9
フロント操作パネル	10
背面パネル	11
ワイヤレスリモコン	13
2. ワイヤレスリモコンについて	15
3. マウスについて	15
4. 本体のセットアップ	16
モニターテレビとの接続	17
コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続	
Sビデオ入力端子を持つ機器との接続	
RGB入力端子を持つ機器との接続	
RGB出力端子について	
5. 資料提示の操作手順	18
印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順	18
スライドフィルムなどの透過資料を提示する場合の簡単な操作手順	19
カメラとして使用するとき	20
サブカメラを使用するとき	20
サブカメラを取り出し、ハンドカメラとして使用するとき	22
収納	23
6. 各種機能について	24
照明	24
入力選択	24
ズーム	26
フォーカス	26
ポジ／ネガ反転	28
カラー／白黒切換	28
OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ)	29
ビデオ色調整 (VIDEO MENU)	30
マイク入力 (AUDIO MENU)	30
ホワイトバランス (WHITE BALANCE MENU)	31
画像メモリーの呼出	31
画像メモリーのセット (記憶)	32
画像メモリーのプロテクト (保護)	32

画像メモリのクリア (消去) . . . . .	33
アイリス . . . . .	33
電子シャッター . . . . .	34
AGC (オート・ゲイン・コントロール) . . . . .	34
BLC (バック・ライト・コントロール) . . . . .	35
ディテール調整 (輪郭強調機能) . . . . .	35
ペDESTAL調整 . . . . .	36
G ON SYNC切換 . . . . .	36
AFモード設定 . . . . .	36
RS-232C設定 . . . . .	36
画角 (映像サイズ) プリセット . . . . .	36
画角 (映像サイズ) 呼出 . . . . .	37
各機能設定の記憶 . . . . .	37
各機能設定の呼出 . . . . .	37
各機能設定の一覧表 . . . . .	38
ビデオポインター . . . . .	39
ビデオポインターの矢印・色の設定 . . . . .	39
電子画像拡大 . . . . .	40
フリーズ . . . . .	40
LCDモニター取付座について . . . . .	41
<b>7. システム展開について . . . . .</b>	<b>42</b>
外部同期の調整 EXT. SYNC MENU . . . . .	42
水平同期位相調整	
色相 (サブキャリア位相) 調整	
<b>8. RS-232Cについて . . . . .</b>	<b>43</b>
セットアップの方法 . . . . .	43
ボーレート (通信速度) の設定 . . . . .	43
接続ケーブルの結線方法 . . . . .	44
RS-232Cコネクタ仕様 (DSUB-9P) . . . . .	44
通信コマンド一覧表 . . . . .	45
データフォーマット仕様 . . . . .	47
操作コマンド (パソコン 本機)	
応答データフォーマット (本機 パソコン)	
通信仕様 . . . . .	49
接続について . . . . .	49
<b>9. 照明ランプ (蛍光ランプ) について . . . . .</b>	<b>50</b>
<b>10. 故障かな? と思ったら . . . . .</b>	<b>51</b>
<b>11. 仕様 . . . . .</b>	<b>52</b>

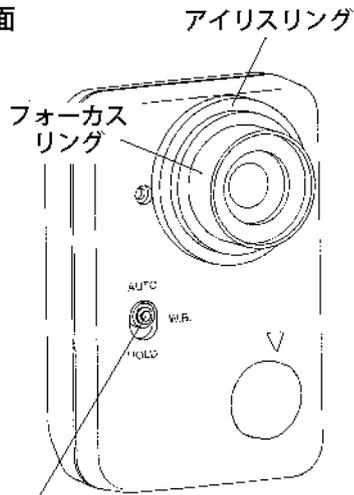
# 1. 各部の名称

## ○外観



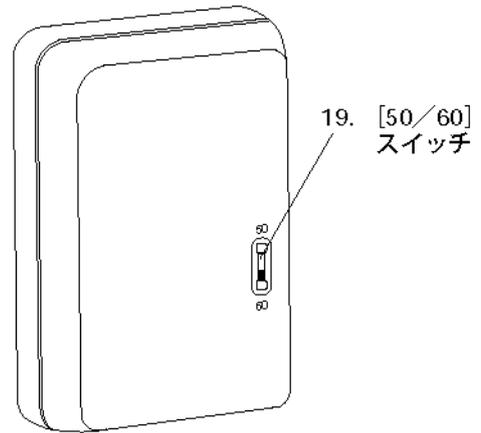
## ○サブカメラ

●正面



18. [W.B.] スイッチ

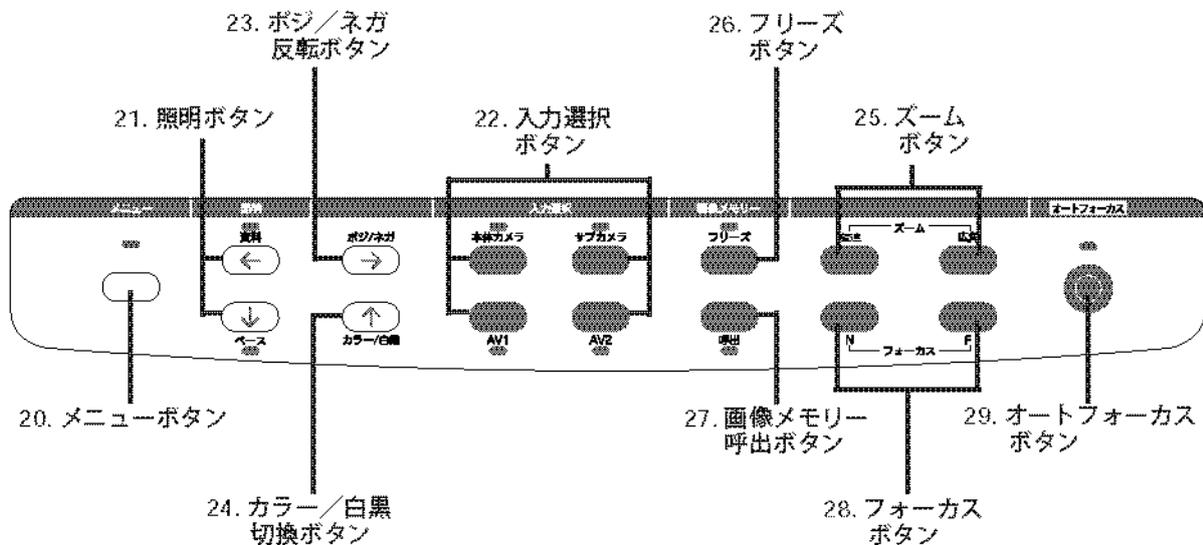
●背面



19. [50/60] スイッチ

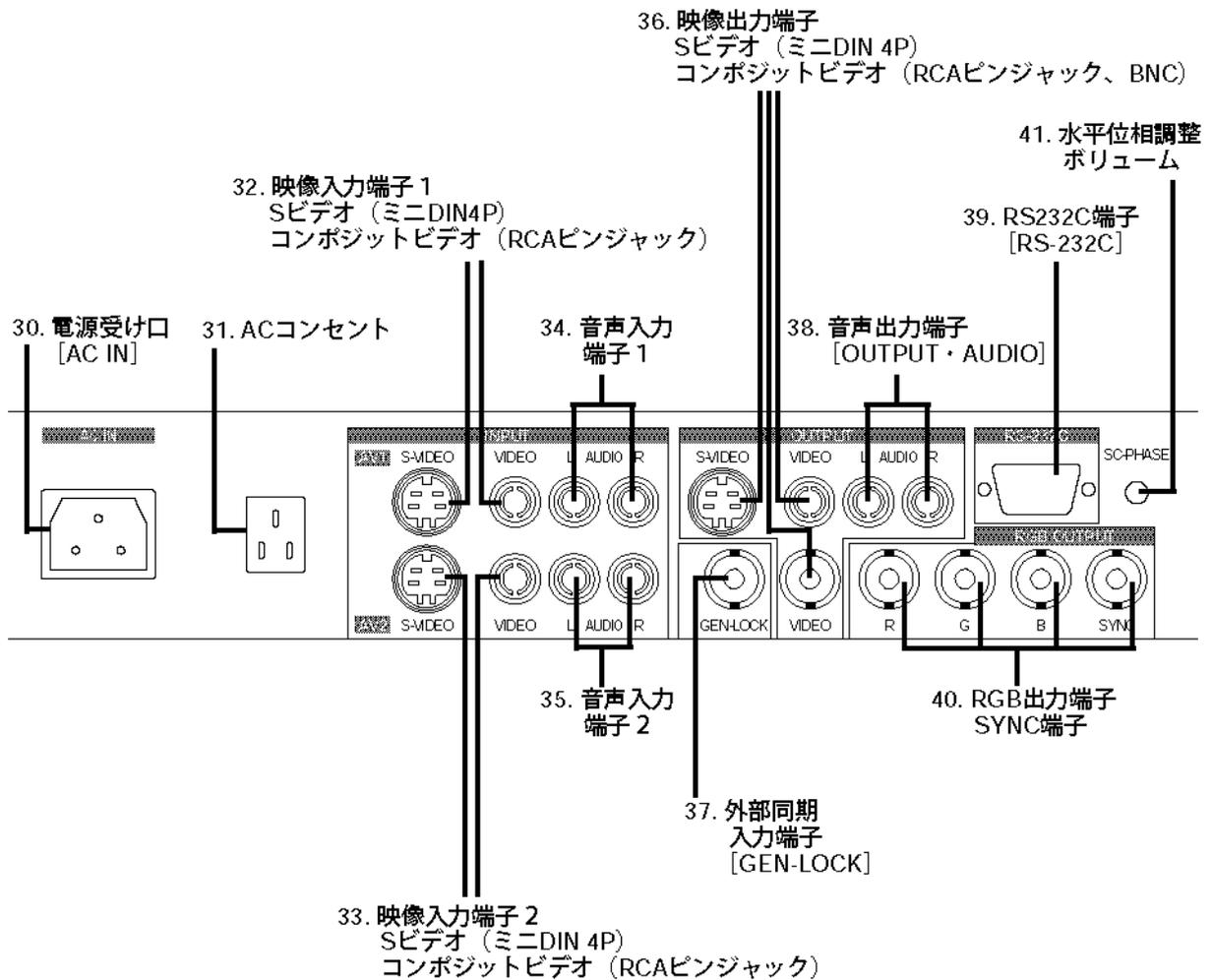
	名称	働き	参考ページ
18.	[W.B.] スイッチ (正面)	ホワイトバランスの調整モードの切換スイッチです。	
	<b>AUTO</b>	ホワイトバランスを自動的に調整します。 照明等を切換えてもカメラが自動的に色温度をチェックしてホワイトバランスを合わせます。	
	<b>HOLD</b>	白い被写体を撮しながらHOLD側に切り換えると、より正確なホワイトバランスがとれます。 ホワイトバランスは固定され、色温度の変化に対しては自動追従しません。 [注] ホワイトバランスがとれるまで数秒の時間がかかります。ホワイトバランスがとれてからHOLD側に切り換えてください。	
19.	[50/60] スイッチ (背面)	シャッターの時間を設定します。 通常は [60] の表示側にして使用します。 電源が50Hzの地域では、スイッチを [50] の表示側に切換えてご使用になると、チラツキ（フリッカ現象）を軽減できる場合があります。	

## ○フロント操作パネル



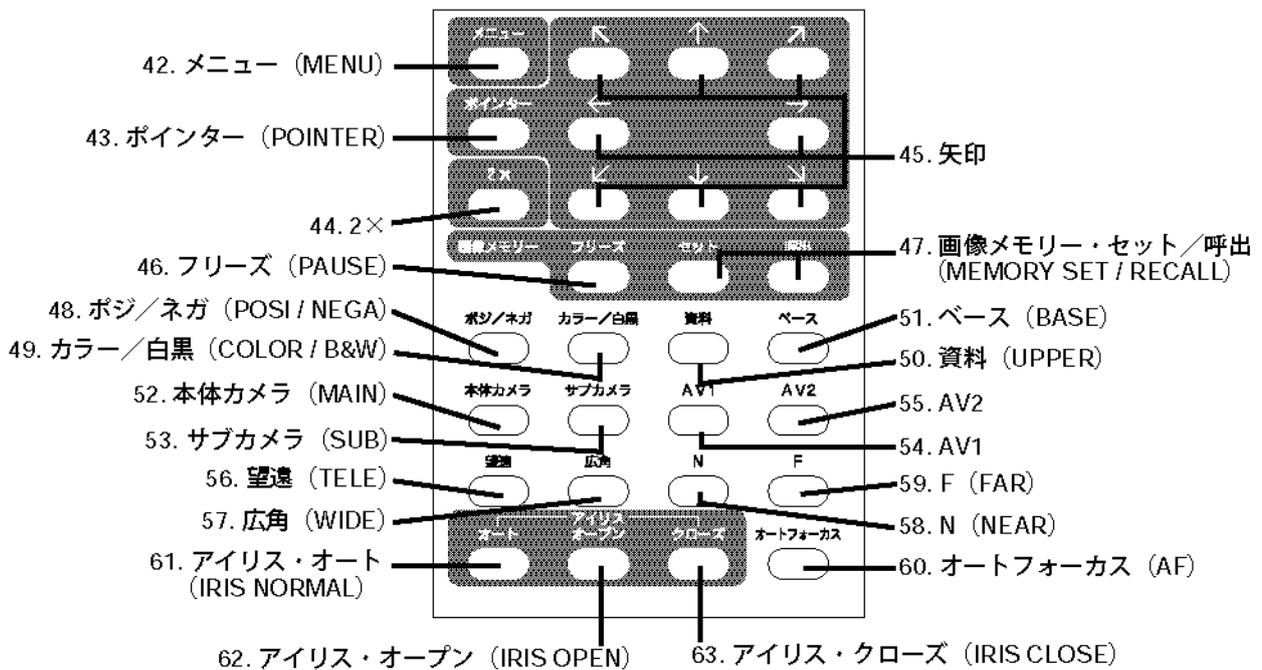
	名称	働き	参考ページ
20.	メニューボタン	OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) メニューで各項目を設定するときを使用します。	P.29
21.	照明ボタン [←] [↓] (矢印ボタン)	照明のON/OFFに使用します。 OSDメニュー表示時は [←] [↓] 矢印キーとなります。	P.24
22.	入力選択ボタン	入力システムの切替えに使用します。	P.24
23.	ポジ/ネガ反転ボタン [→] (矢印ボタン)	ネガフィルムを提示するときを使用します。 OSDメニュー表示時は [→] 矢印キーとなります。	P.28
24.	カラー/白黒切替ボタン [↑] (矢印ボタン)	文書などの白黒原稿を提示するときを使用します。 OSDメニュー表示時は [↑] 矢印キーとなります。	P.28
25.	ズームボタン	映像のサイズを変えるときに使用します。	P.26
26.	フリーズボタン	画像を一時的に静止するときを使用します。	P.40
27.	画像メモリー呼出ボタン	あらかじめ画像メモリーに記憶させた画像を順次呼び出すときに使用します。	P.31
28.	フォーカスボタン	電動マニュアルでピント合わせをするときに使用します。	P.27
29.	オートフォーカスボタン	自動でピント合わせをするときに使用します。 ワンショットオートフォーカス方式です。	P.26

○背面パネル



	名称	働き	参考ページ
30.	電源受け口 [AC IN]	電源コードコネクタ差し込み口です。	
31.	ACコンセント	最大400Wまで電力を供給します。(電源スイッチ非連動)	
32.	映像入力端子1 [INPUT・AV1・S-VIDEO/VIDEO] Sビデオ (ミニDIN 4P) コンポジットビデオ (RCAピンジャック)	入力選択がAV1のときにこの端子からの映像が映像出力端子より出力されます。	
33.	映像入力端子2 [INPUT・AV2・S-VIDEO/VIDEO] Sビデオ (ミニDIN 4P) コンポジットビデオ (RCAピンジャック)	入力選択がAV2のときにこの端子からの映像が映像出力端子より出力されます。	
34.	音声入力端子1 [INPUT・AV1・AUDIO]	入力選択がAV1のときにこの端子からの音声は音声出力端子より出力されます。	
35.	音声入力端子2 [INPUT・AV2・AUDIO]	入力選択がAV2のときにこの端子からの音声は音声出力端子より出力されます。	
36.	映像出力端子 [OUTPUT・S-VIDEO/VIDEO] Sビデオ (ミニDIN 4P) コンポジットビデオ (RCAピンジャック)	モニターテレビなどに接続します。	P.17
37.	外部同期入力端子 [GEN-LOCK]	外部同期信号を入力するときに使用します。	
38.	音声出力端子 [OUTPUT・AUDIO]	モニターテレビの音声入力端子などに接続します。	
39.	RS232C端子 [RS-232C]	付属品のマウスを接続します。 また、汎用のパソコンから制御可能な端子です。	P.43
40.	RGB出力端子・SYNC端子 [RGB OUTPUT]	入力選択に関係なく本体カメラの映像出力のRGB信号とその同期信号を出力します。	P.17
41.	水平位相調整ボリューム [SC-PHASE]	外部同期の色相を微調整するときに使用します。	P.42

○ワイヤレスリモコン



	名称	働き	参考ページ
42.	メニュー (MENU)	OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) を呼び出すとき、および設定の決定に使用します。	P.29
43.	ポインタ (POINTER)	画面上にビデオポインタを表示するときに使用します。	P.39
44.	2×	映像を2倍に拡大するときに使用します。	P.40
45.	矢印	ビデオポインタを移動するとき、および2倍拡大の映像をスクロールするときに使用します。 画面上にビデオポインタが表示されているときにこのキーを押すと、押した矢印の方向へビデオポインタが移動します。 2倍拡大時には、押した矢印の方向へ映像がスクロールします。 OSDの項目を移動するときに使用します。	
46.	フリーズ (PAUSE)	映像を一時的に静止するときに使用します。	P.40
47.	画像メモリー・セット/呼出 (MEMORY SET / RECALL)	[セット] (SET) は画像メモリーに映像を記憶するときに使用します。 [呼出] (RECALL) は画像メモリー内の映像を呼び出すときに使用します。	P.31.32
48.	ポジ/ネガ (POSI / NEGA)	ポジ/ネガを切換えるときに使用します。	P.28
49.	カラー/白黒 (COLOR / B&W)	カラー/白黒を切換えるときに使用します。	P.28
50.	資料 (UPPER)	資料照明のON/OFFに使用します。	P.24
51.	ベース (BASE)	ベース照明のON/OFFに使用します。	P.24
52.	本体カメラ (MAIN)	本体カメラ映像に切換えるときに使用します。	P.21
53.	サブカメラ (SUB)	サブカメラ映像に切換えるときに使用します。	P.21
54.	AV1	AV1映像入力に切換えるときに使用します。	P.24
55.	AV2	AV2映像入力に切換えるときに使用します。	P.24
56.	望遠 (TELE)	望遠側へズームリングするときに使用します。	P.26
57.	広角 (WIDE)	広角側へズームリングするときに使用します。	P.26
58.	N (NEAR)	ピントを手前側へ移動するときに使用します。	P.27
59.	F (FAR)	ピントを遠方側へ移動するときに使用します。	P.27
60.	オートフォーカス (AF)	自動でピント合わせするときに使用します。	P.26
61.	アイリス・オート (IRIS NORMAL)	自動アイリスにするときに使用します。	P.33
62.	アイリス・オープン (IRIS OPEN)	マニュアルアイリスで絞りを開くときに使用します。	P.33
63.	アイリス・クローズ (IRIS CLOSE)	マニュアルアイリスで絞りを閉じるときに使用します。	P.33

## 2. ワイヤレスリモコンについて

赤外線が発光部を本体の受信部に向けて希望の動作のボタンを押します。  
受信可能範囲は受信部の正面に対し左右それぞれ30°の範囲で7m以内です。  
太陽光やインバータ蛍光灯の近く等、周囲の状況により短くなることがあります。  
また蛍光灯等の条件により受信しないことがあります。その場合は受信側の設置場所を変更するなどの対処をしてください。

### ○準備

裏面の電池ケースカバーを、[▼] マーク部分を押し下げながら矢印の方向にずらして外します。  
電池ケース内の表示の向きに従って、単4乾電池2個を入れます。

[注] +-の極性は指示通り正しく入れてください。

[注] 乾電池の寿命は使用条件、種類により異なりますが、約1年で新しいものと交換してください。

[注] 付属の乾電池は、動作確認用のものですので、有効使用期間は保証されません。

## 3. マウスについて

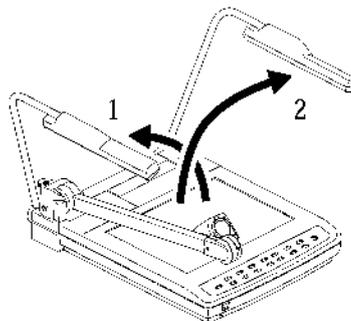
背面パネルのRS-232C端子に接続します。  
マウスにより「ビデオポインター」、「電子画像拡大」の表示および移動のコントロールができます。

参照	・ RS-232C設定	P.36
	・ ビデオポインター	P.39
	・ 電子画像拡大	P.40

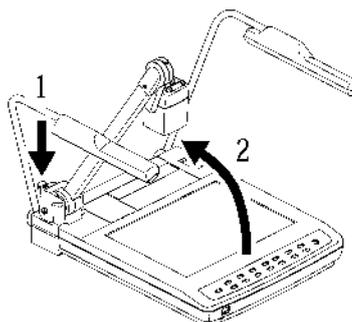
[注] パソコン接続との併用はできません。

## 4. 本体のセットアップ

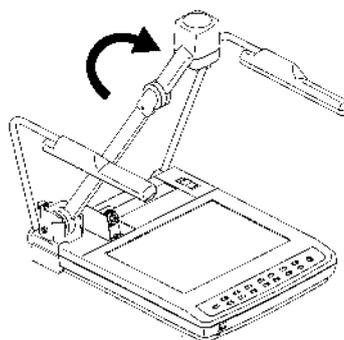
- (1) 資料照明アームを本体に対して止まるまで開きます。  
右図の1のほうから片方ずつ開いてください。



- (2) 支柱ロック解除レバーを押し支柱を起こします。支柱ロック解除レバーが戻る位置まで支柱を引き起こします。このとき完全にロックがかかるまで引き起こします。



- (3) カメラヘッドを回転させ、レンズ部をステージの方へ向けます。



- (4) 電源コードを本機の電源受け口およびコンセントに接続します。

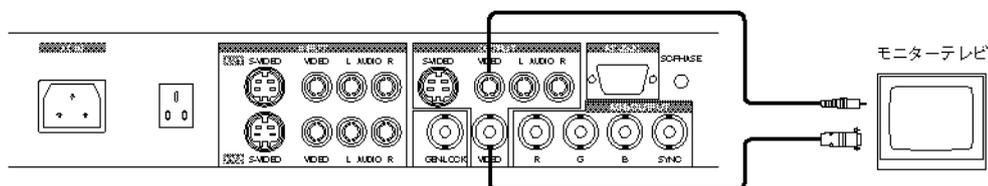
## ○モニターテレビとの接続

[注] 本機および接続する機器を保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

[注] ビデオケーブルを抜き差しするときは、ケーブルのプラグ部を持ってください。

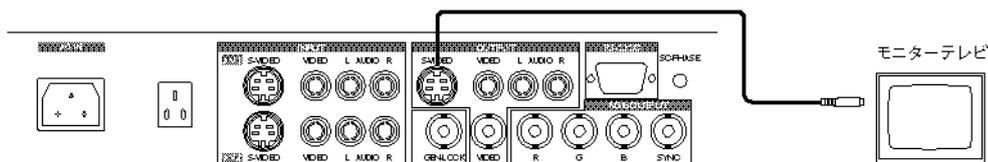
### ●コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続

付属のRCAピンプラグ付きビデオ／オーディオケーブルまたは市販のBNCケーブルで接続してください。（本機RCAピンジャック出力端子・BNC出力端子のどちらを選択しても構いません。）



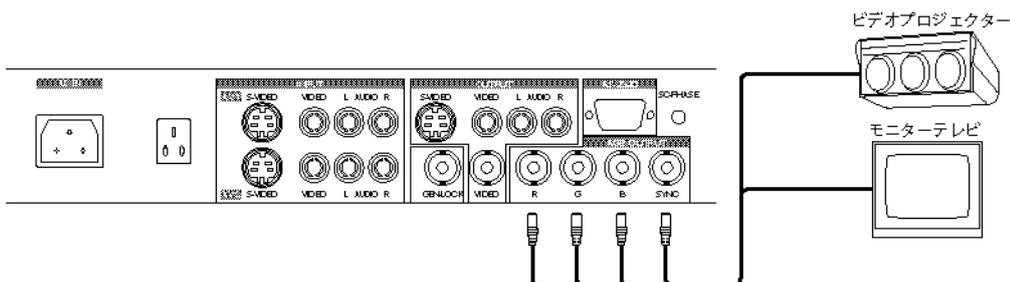
### ●Sビデオ入力端子を持つ機器との接続

本機Sビデオ出力端子（ミニDIN4P）と、Sビデオ入力端子付きモニターテレビを接続します。Sビデオ出力をご使用の場合は市販の接続ケーブルをお求めください。使用する機器がY/C分離のコネクタになっている場合は変換アダプターが必要となります。



### ●RGB入力端子を持つ機器との接続

本機RGB出力端子と、RGB入力端子を持つ機器をBNCケーブルで接続します。BNCケーブルは市販のものをご利用ください。



### ●RGB出力端子について

入力切替ボタンで映像をサブカメラ、AV1、AV2に切替えても、RGB出力端子からは本体カメラの映像のみ出力されます。

参照

・ G ON SYNC切替 P.36

## 5. 資料提示の操作手順

### ○印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順

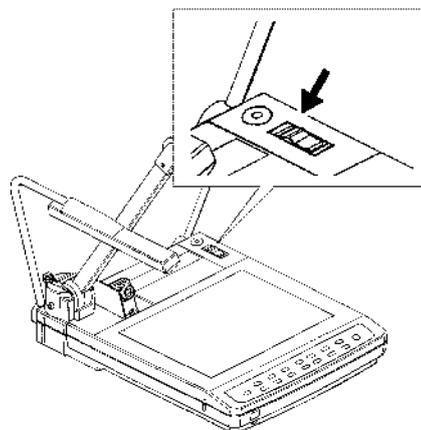
#### (1) 電源スイッチをONにします。

[注] モニターテレビとの接続は前もって行ってください。

[注] フロント操作パネルの表示ランプ（緑色LED）が本機の各種機能の初期設定の状態を表示します。

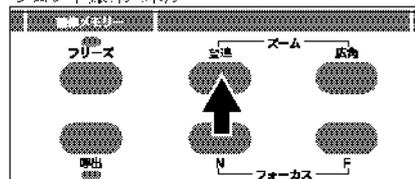
電源スイッチをONにした後は、[本体カメラ]の表示ランプのみが点灯します。

[注] 電源スイッチをOFFにした直後にONにした場合は、本機が作動しないことがあります。再起動の場合は、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。

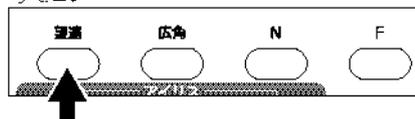


#### (2) ステージ面に被写体を置き、被写体の大きさに応じてモニターテレビ画面を見ながらフロント操作パネルまたはリモコンの [望遠] (TELE) ・ [広角] (WIDE) ボタンで画像のサイズを調整します。

フロント操作パネル



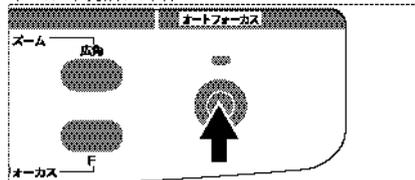
リモコン



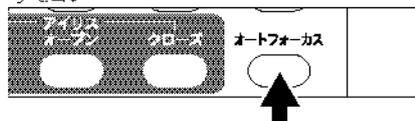
#### (3) フロント操作パネルのオートフォーカスボタンまたはリモコンの [オートフォーカス] (AF) ボタンを押し、ピントを合わせます。

[注] ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。(クローズアップレンズが装着されている状態)

フロント操作パネル

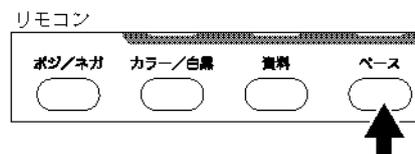
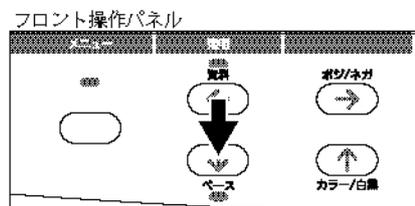


リモコン

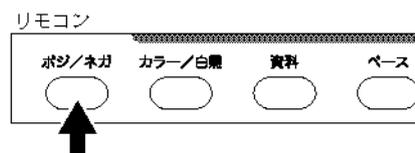
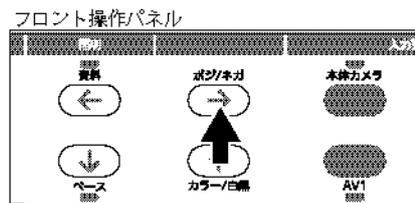


## ○スライドフィルムなどの透過資料を提示する場合の簡単な操作手順

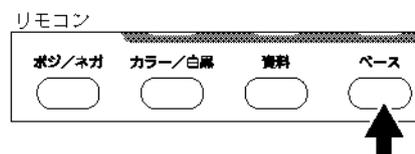
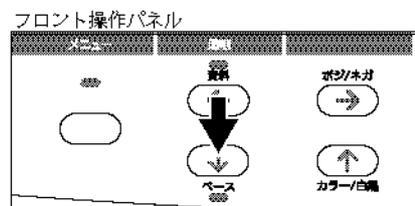
- (1) フロント操作パネルまたはリモコンの [ベース] (BASE) ボタンを押します。フロントパネルの [ベース] の表示ランプが点滅し、ステージ内蔵のベース照明 (透過照明装置) が点灯します。



- (2) ネガフィルムを提示するときは、フロント操作パネルまたはリモコンの [ポジ/ネガ] (POSI/NEGA) ボタンを押し、ネガに切換えます。



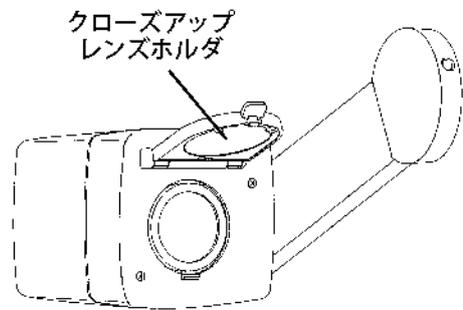
- (3) ベース照明を消すときは再度フロント操作パネルまたはリモコンの [ベース] (BASE) ボタンを押します。



## ○カメラとして使用するとき

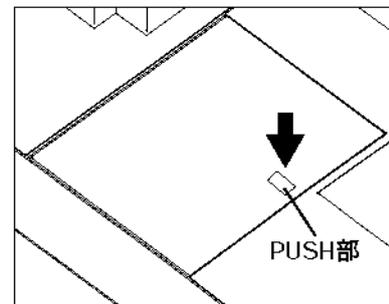
カメラヘッド部を水平位置にセットすれば壁面・遠景等が撮影できます。  
被写体が遠距離のときはクローズアップレンズホルダを手前へはね上げます。

**参考** 1.1m～∞にピントが合います。



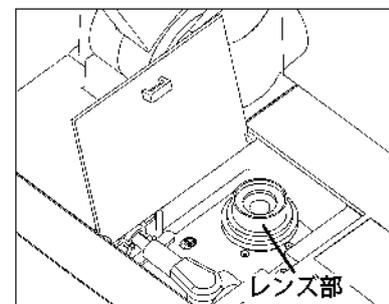
## ○サブカメラを使用するとき

(1) サブカメラ収納部の [PUSH] 部を押します。

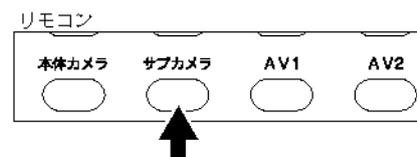
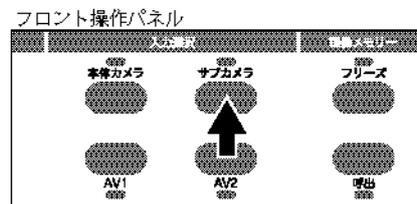


(2) サブカメラ収納部のフタを開けます。

(3) サブカメラのレンズ部を持って起こします。



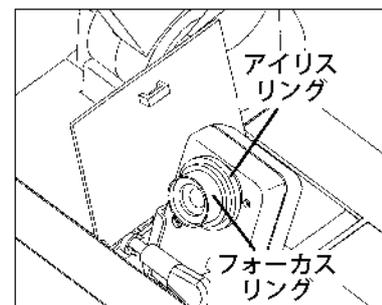
- (4) フロント操作パネルまたはリモコンの [サブカメラ] (SUB) を押します。



- (5) アイリスリングを回して、明るさを調整します。フォーカスリングを回して、ピントを調整します。

[注] 本体カメラ映像に切替える時は、フロント操作パネルまたはリモコンの [本体カメラ] (MAIN) を押します。

[注] サブカメラは入力選択機能の1つです。OSDの設定、画像メモリー、ビデオポインター、画像拡大、フリーズなどの本体カメラの機能は無効となります。



## ○サブカメラを取り出し、ハンドカメラとして使用するとき

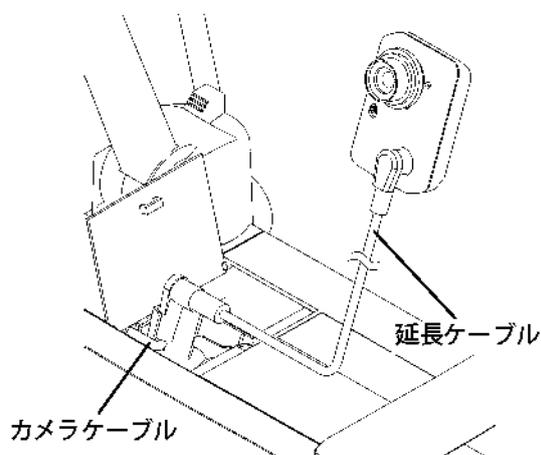
[注] 延長ケーブルを使用します。延長ケーブルを使用するときは、一度本体の電源スイッチを [OFF] にしてから延長コードを接続してください。

- (1) サブカメラからカメラケーブルを取り外します。

[注] 必ずカメラケーブルを外してからサブカメラを取り出してください。

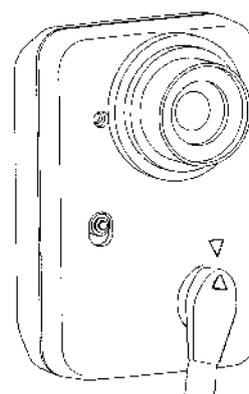
- (2) サブカメラを取り出します。

- (3) カメラケーブルに延長ケーブルを接続します。  
(延長ケーブルの△マークとカメラケーブルの△マークの位置を合わせてください。)



- (4) 延長ケーブルの△マークをサブカメラの▽マークに合わせて接続します。

[注] サブカメラ収納時は、逆の手順で行ってください。



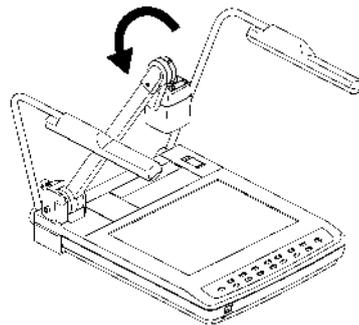
## ○収納

- [注] LCDモニターを取り付けている時は、収納できません。  
LCDモニターを取り外してから収納してください。

- (1) 電源スイッチをOFFにして、電源コードおよびビデオケーブルを抜きます。

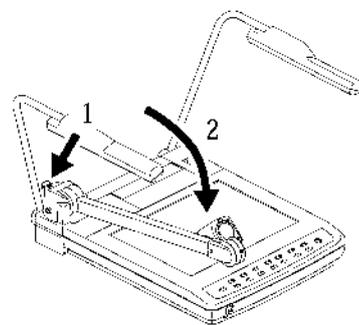
- (2) カメラヘッド部を図の位置まで回転させます。

- [注] カメラヘッド部は必ず図の位置にしてください。  
ほかの位置で収納しますと、ステージ面や、レンズをいためることがあります。

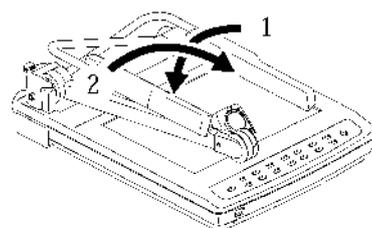


- (3) 支柱ロック解除ボタンを押してロックをはずし、支柱を倒します。

- [注] 支柱は図の位置が所定の収納状態です。  
絶対に無理な力を加えないでください。



- (4) 左右の資料照明アームを畳みます。  
必ず右図の1のほうから畳んでください。



## 6. 各種機能について

### ○照明

印刷物などの資料を提示するための資料照明とスライドフィルムやネガフィルムなどの透過資料を提示するためのベース照明が標準装備されています。

フロント操作パネルの照明ボタンまたはリモコンの [資料] (UPPER)・[ベース] (BASE) ボタンを押すと表示ランプが点滅し、2秒～3秒して蛍光ランプが点灯します。

ランプを消すときは再度同じボタンを押します。

提示する資料に合わせてフロント操作パネルまたはリモコンの [資料] (UPPER)・[ベース] (BASE) ボタンを押して照明を点灯してください。

[注] 資料照明とベース照明を同時に点灯させることはできません。

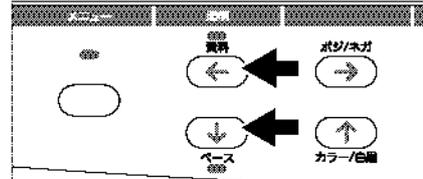
[注] 資料照明ランプは資料面の照度が不十分なとき、あるいは立体物を提示する場合にご使用いただきますと、演色性の良い鮮明な映像が得られます。

### ○入力選択

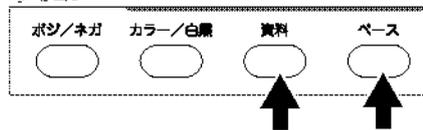
接続ケーブルを差し替えることなく、VTR、ビデオカメラ等のAV機器2台の映像を入力選択ボタンで簡単に切換えてモニターテレビに映し出すことができます。フロント操作パネルまたはリモコンの入力選択ボタン ([AV1]、[AV2]) で切換えできます。

入力選択では次ページの表の切換えが可能ですが、RGB出力の切換えはできません。また、「コンポジットビデオ入力をSビデオ出力に変換して出力する」などの信号変換はできません。

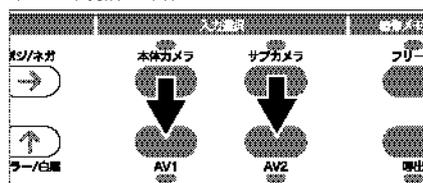
フロント操作パネル



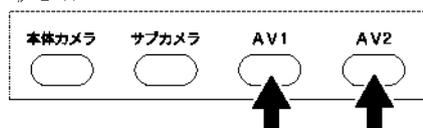
リモコン



フロント操作パネル



リモコン



●映像、音声入出力端子切替一覧表

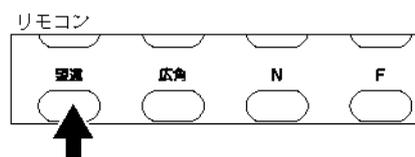
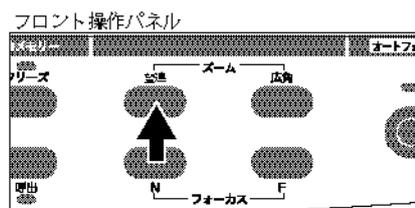
入力選択		出力	映像出力端子				音声出力端子	
			Sビデオ	コンポジットビデオ		RGB	チャンネル	
				RCA ピンジャック	BNC		L	R
本体	本体カメラ 映像信号	Sビデオ	○	—	—	—	—	—
		コンポジットビデオ	—	○	○	—	—	—
		RGB	—	—	—	○	—	—
	マイク	モノラル	—	—	—	—	○	○
サブカメラ	映像信号	Sビデオ	○	—	—	—	—	—
		コンポジットビデオ	—	○	○	—	—	—
	マイク	モノラル	—	—	—	—	○	○
A V 1	外部 映像信号	Sビデオ	○	—	—	—	—	—
		コンポジットビデオ	—	○	○	—	—	—
	外部音声信号 (ステレオ)	Lチャンネル	—	—	—	—	○	—
		Rチャンネル	—	—	—	—	—	○
	マイク	モノラル	—	—	—	—	○	○
A V 2	外部 映像信号	Sビデオ	○	—	—	—	—	—
		コンポジットビデオ	—	○	○	—	—	—
	外部音声信号 (ステレオ)	Lチャンネル	—	—	—	—	○	—
		Rチャンネル	—	—	—	—	—	○
	マイク	モノラル	—	—	—	—	○	○

[注] RGB出力端子には、入力選択に関係なく常に本体カメラの映像が出力されます。

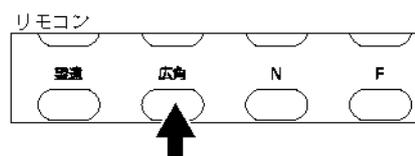
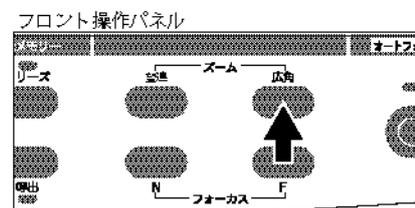
[注] 26ページから40ページまでの説明は本体カメラのみに有効です。

## ○ズーム

フロント操作パネルまたはリモコンのズームボタン [望遠] (TELE)を押すと、映像のサイズが徐々に大きくなります。



フロント操作パネルまたはリモコンのズームボタン [広角] (WIDE)を押すと、映像のサイズが徐々に小さくなります。

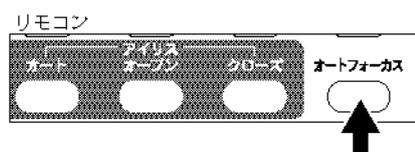
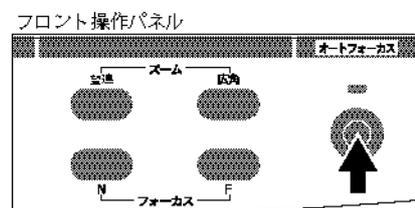


## ○フォーカス

### ●オートフォーカス

フロント操作パネルまたはリモコンの [オートフォーカス] (AF) ボタンを押すとオートフォーカス動作します。

オートフォーカス動作中はフロント操作パネルの表示ランプが点滅し、被写体にピントが合うと点滅が終わります。



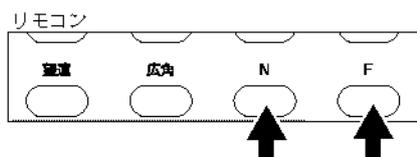
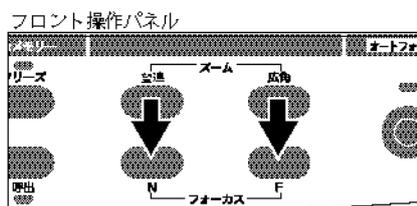
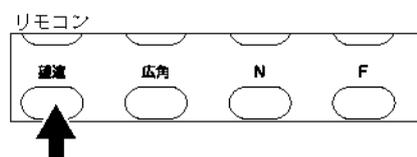
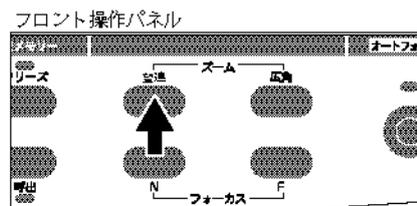
本機はワンショットオートフォーカス方式です。一度ピントが合うとオートフォーカス動作は解除されるので、その時のピント位置を維持します。フロント操作パネルまたはリモコンのズームボタンの[望遠] (TELE) ボタンを押して被写体の映像サイズを最も大きくした状態でオートフォーカスを動作させると、より高精度な映像になります。

下記のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わない場合があります。この場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

- ・ 明暗の差 (コントラスト) の少ない被写体
- ・ 横じま、格子模様など細かい繰り返しパターンの被写体
- ・ 輝いていたり強い光を反射して光っている被写体
- ・ 被写体の背景が明るいときや、明暗がはっきりしすぎているとき
- ・ 画面全体が暗いとき
- ・ 被写体が遠くと近くに共にあるとき
- ・ 動く被写体

オートフォーカス動作中にフロント操作パネルまたはリモコンのマニュアルフォーカスボタン [N] (NEAR) ・ [F] (FAR) を押すと、オートフォーカス動作は解除されます。

[注] ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。(クローズアップレンズホルダが装着されている状態)



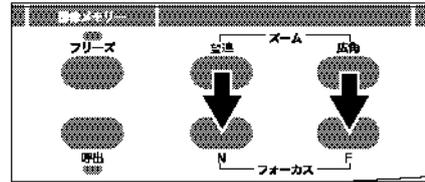
### ●電動マニュアルフォーカス

立体資料などの任意の部分にピントを合わせる時に使用します。

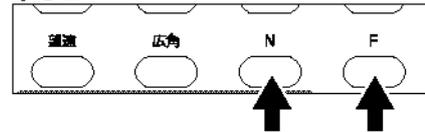
フロント操作パネルまたはリモコンのフォーカスボタン [N] (NEAR) ・ [F] (FAR) を押します。

[注] ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。(クローズアップレンズホルダが装着されている状態)

フロント操作パネル



リモコン

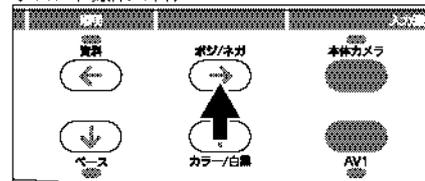


### ○ポジ／ネガ反転

ネガフィルムを提示するときを使用します。フロント操作パネルまたはリモコンの [ポジ／ネガ] (POSI/NEGA) ボタンを押すと映像が反転されます。

再度 [ポジ／ネガ] ボタンを押すと通常の状態になります。

フロント操作パネル



リモコン



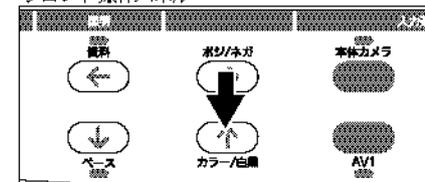
### ○カラー／白黒切替

文書等の白黒原稿を提示するときを使用します。モニターテレビ上での色のにじみがない、より鮮明な画像が得られます。

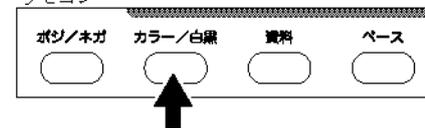
通常はカラー表示の状態にしておきます。フロント操作パネルまたはリモコンの [カラー／白黒] (COLOR/B&W) ボタンを押すと、映像が白黒になります。

再度 [カラー／白黒] ボタンを押すと通常の状態になります。

フロント操作パネル



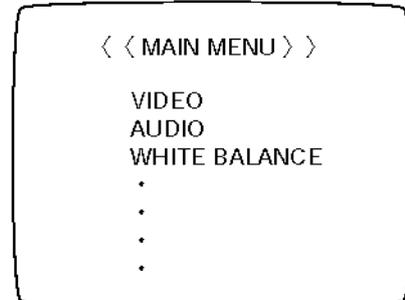
リモコン



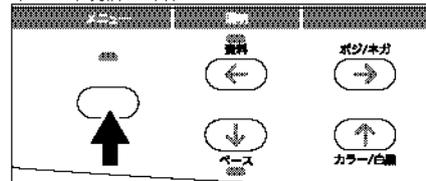
## ○OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ)

リモコンまたはフロント操作パネルの [メニュー] (MENU) ボタンを押すと、OSDの設定メインメニュー (MAIN MENU) が表示されます。各機能の項目を設定します。

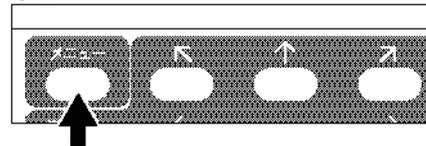
OSDメニュー (モニター上)



フロント操作パネル



リモコン



各 (MENU) 項目は以下のボタンを押して操作します。

- ・ [↑] [↓] ボタン.....選択 (SELECT)
- ・ [→] [←] ボタン.....調整 (ADJUST)
- ・ [メニュー] ボタン...決定 (ENTER)

各機能の項目を設定後、OSDメニューを終了してください。

OSDメニューの設定を記憶します。

この設定は、次回使用時も有効となります。

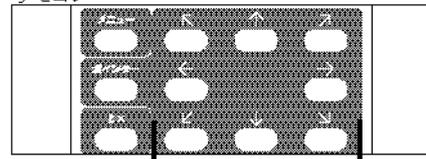
[注] OSDメニューを正常に終了しないと、設定が記憶されません。

[注] 調整する項目によっては、OSDの文字色が変わることがあります。

フロント操作パネル



リモコン



## ○ビデオ色調整 〈VIDEO MENU〉

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈VIDEO MENU〉

本体カメラのビデオ出力の色調整をします。

表示メニュー	内容
R-GAIN	赤成分の色ゲイン（色の濃さ）の調整をします。
G-GAIN	緑成分の色ゲインの調整をします。
B-GAIN	青成分の色ゲインの調整をします。
Ye-GAIN	黄成分の色ゲインの調整をします。
R-PHASE	赤成分の色相（色あい）の調整をします。
G-PHASE	緑成分の色相の調整をします。
B-PHASE	青成分の色相の調整をします。
Ye-PHASE	黄成分の色相の調整をします。

## ○マイク入力 〈AUDIO MENU〉

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈AUDIO MENU〉

マイク端子からの音量を設定します。

表示メニュー	内容
MIC VOL.	マイク端子からの音声（モノラル）の音量を設定します。 初期値 〈41〉
MUTE	ONにてマイク端子の音量を〈0〉にします。 初期設定 〈OFF〉

[注] 入力選択を [本体カメラ] 以外に切替えても、マイクの音声は音声出力端子から出力されます。

## ○ホワイトバランス 〈WHITE BALANCE MENU〉

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈WHITE BALANCE MENU〉

白の収束点の設定をします。

表示メニュー	内容	
〈MODE〉	ホワイトバランスのモード設定をします。	
	〈AUTO〉	自動追尾のホワイトバランスの設定になります。(初期設定)
	〈ONE PUSH〉	ワンプッシュホワイトバランスの設定になります。 [メニュー] ボタンを押したときの色温度のホワイトバランスに固定します。
	〈USER AUTO〉	自動追尾のホワイトバランスの白の収束点を〈RED〉〈BLUE〉で設定することができます。
〈MANUAL〉	ホワイトバランスを〈RED〉〈BLUE〉で設定することができます。	
〈RED〉	赤色成分の調整をします。(MANUAL、USER AUTO時のみ有効)	
〈BLUE〉	青色成分の調整をします。(MANUAL、USER AUTO時のみ有効)	

[注] 自動追尾可能な色温度範囲は、約3000k～約8000kです。

## ○画像メモリの呼出

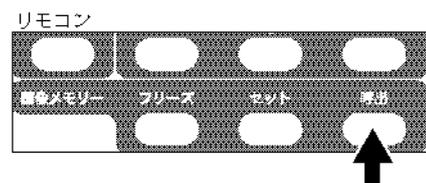
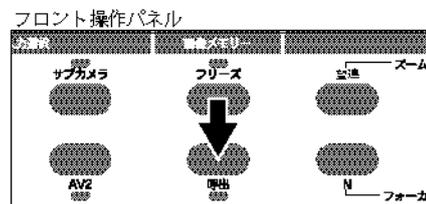
・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY RECALL MENU〉 → 〈VIDEO〉

フロント操作パネルまたはリモコンの [呼出] (RECALL) ボタンで呼び出される画像メモリNo.を表示します。

初期値は〈1〉です。

[呼出] (RECALL) ボタンを押すごとに画像メモリNo.は+1 となります。

空の画像メモリNo.の呼び出し時はスキップ (飛び越し) します。



画像メモリ呼び出し時にこの数字を [→] [←] ボタンで変更し [呼出] (RECALL) ボタンを押すと、選択された数字の画像メモリが表示されます。

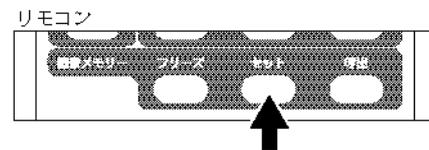
## ○画像メモリのセット（記憶）

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY SET MENU〉 → 〈VIDEO〉

〈MEMORY SET MENU〉を表示させ、[↑]  
[↓] ボタンで〈VIDEO〉を選択します。  
画像メモリーが設定されているNo.の数値を  
[→] [←] ボタンで選択し、リモコンの[セッ  
ト] (SET) ボタンを押すと、本体カメラで撮影  
している映像が画像メモリーに記憶されます。  
画面には「MEMORY」と約4秒間点滅表示され  
ます。

[注] 画像メモリー呼び出し中は、画像メモリーに  
記憶できません。本体カメラを選択後、記  
憶してください。

〈PROTECT〉の項目の画像メモリーNo.の下欄  
が「E」の表示の時は何度でもやり直しができま  
す。(上書き可能)



## ○画像メモリーのプロテクト（保護）

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY SET MENU〉 → 〈PROTECT〉

〈MEMORY SET MENU〉を表示させ、[↑] [↓] ボタンで〈PROTECT〉を選択します。

[→] [←] ボタンでプロテクトする画像メモリーNo.の数値を選択し、[メニュー] (MENU)  
ボタンを押すごとに画像メモリーNo.の下欄の表示が「E」 ↔ 「P」と切換わります。

「P」の表示になっている画像メモリーNo.は画像メモリーのセットをしても上書きされません。  
(プロテクト状態)

## ○画像メモリのクリア（消去）

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY SET MENU〉 → 〈CLEAR〉

〈MEMORY SET MENU〉を表示させ、[↑] [↓] ボタンで〈CLEAR〉を選択します。

[→] [←] ボタンで画像メモリが設定されているNo.を選択し、(選択された数字は緑色から赤色の表示になります。)

[メニュー] (MENU) ボタンを押すと画像メモリは消去されます。

消去された画像メモリのNo.は数字が「-」の表示になります。

[注] プロテクトされている画像は、消去されません。

## ○アイリス

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈IRIS〉

絞りを調整します。

OSDでオートアイリスのレベル調整ができます。

[→] [←] ボタンで数値を変化させ、オートアイリスのレベルを設定します。

初期設定は〈0〉です。

マニュアルアイリス

[アイリス・オープン] (OPEN) ボタンを押すと、絞りが開きます。

[アイリス・クローズ] (CLOSE) ボタンを押すと、絞りが閉じます。

マニュアルの時は、被写体の明るさの変化によって絞りは固定となり、追従しません。

初期設定はオートアイリスです。

## ○電子シャッター

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈SHUTTER〉

シャッターのスピードが設定できます。

表示メニュー	内容
〈OFF〉	1/60s (初期設定)
〈FL〉	1/100sフリッカレス 関東地方など電源が50Hzの地域では、〈OFF〉で使用すると蛍光灯・水銀灯など交流点灯の放電管の照明によるチラツキ（フリッカ現象）が出ることがあります。 〈FL〉に設定してご使用になると、チラツキを軽減できることがあります。 関西地方などの電源が60Hzの地域では、〈OFF〉のままご使用してください。
〈HS〉	1/100s、1/125s、1/250s、1/500s、1/1000s、1/2000s、1/4000s、1/10000sの切り換えができます。

〔注〕 〈HS〉のモードにするとフリッカおよび色のチラツキが生じる場合があります。  
その場合は、シャッタースピードを遅くしてください。

## ○AGC (オート・ゲイン・コントロール)

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈AGC〉

オート・ゲイン・コントロールの設定ができます。

被写体が暗いときにゲインアップすると、映像が明るくなります。

表示メニュー	内容
〈OFF〉	ゲインアップはしません。(初期設定)
〈6dB、12dB、18dB〉	3段階のゲインアップが選択できます。

## ○BLC（バック・ライト・コントロール）

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈BLC〉

バック・ライト・コントロールの設定ができます。

表示メニュー	内容
〈MODE1〉	画面の上部エリアに暗い被写体が入ったとき、その被写体に合わせて画面の明るさを上げるコントロールをします。
〈MODE2〉	画面の中央部エリアに暗い被写体が入ったとき、その被写体に合わせて画面の明るさを上げるコントロールをします。
〈MODE3〉	画面の下部エリアに暗い被写体が入ったとき、その被写体に合わせて画面の明るさを上げるコントロールをします。
〈AUTO〉	上部・中央部・下部のエリアの自動判別をして暗い被写体が入ったとき、その被写体に合わせて画面の明るさを上げるコントロールをします。

[注] AGCがOFFの場合は、BLCは動作しません。

## ○ディテール調整（輪郭強調機能）

・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈DETAIL〉

映像の輪郭の強弱を16段階で調整できます。

初期値は〈0〉です。

## ○ペDESTAL調整

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈PEDESTAL〉

黒レベルを16段階で調整できます。

初期値は〈0〉です。

## ○G ON SYNC切換

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION1 MENU〉 → 〈G ON SYNC〉

RGBのBNC端子のうちG信号出力に同期信号を付加する場合は〈ON〉に切換えてください。

初期設定は〈OFF〉です。

## ○AFモード設定

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION2 MENU〉 → 〈ZOOM AF〉

AF動作をズームボタンを押すごとに作動させる場合は〈ON〉に切換えてください。

初期設定は〈OFF〉です。

## ○RS-232C設定

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈OPTION2 MENU〉 → 〈232C SW〉

RS-232C端子に接続する機器をマウス〈MOUSE〉かパソコン〈PC〉かを選択します。

初期設定は〈MOUSE〉です。

## ○画角（映像サイズ）プリセット

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY SET MENU〉 → 〈ZOOMING〉

映像サイズを2ポジションまでプリセットします。

プリセットする映像サイズにズームした状態で〈1〉または〈2〉を選択して、[メニュー] (MENU) ボタンを押します。

〈POWER ON〉を選択すると、電源ONの時のズーム位置の設定となります。

## ○画角（映像サイズ）呼出

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY RECALL MENU〉 → 〈ZOOMING〉

プリセットされた画角（映像サイズ）を呼び出します。

プリセットされた映像サイズの〈1〉または〈2〉を選択して、[メニュー] (MENU) ボタンを押します。

## ○各機能設定の記憶

OSDで設定した状態を、2モード記憶できます。

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY SET MENU〉 → 〈SETTING〉

〈MEMORY SET MENU〉において [↑] [↓] ボタンで 〈SETTING〉 を選択します。

2モードの設定ができます。

各メニューを設定した状態で〈1〉または〈2〉を選択して、[メニュー] (MENU) ボタンを押すとその時点での設定値を記憶します。

## ●設定 [1] [2] への記憶が有効な項目

P.38 「各機能設定の一覧表」を参照してください。

電源をOFFにしても設定を保持しますので、再度電源をONしたときに呼び出すことができます。

呼び出す方法については、下記の「各機能設定の呼出」を参照してください。

## ○各機能設定の呼出

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈MEMORY RECALL MENU〉 → 〈SETTING〉

〈MEMORY SET MENU〉において [↑] [↓] ボタンで 〈SETTING〉 を選択します。

〈1〉または〈2〉にして、[メニュー] (MENU) ボタンを押すと記憶された設定を呼び出すことができます。

〈INI.〉を選択すると、初期状態の設定となります。

○各機能設定の一覧表

	〈MAIN MENU〉を 閉じたときの状態を 記憶する項目 ※1	〈SETTING〉 [1] [2] に 記憶可能な項目	〈SETTING〉 〈INI.〉 で 初期化する項目 ※2	
〈VIDEO MENU〉の調整値	○	○	○	
〈AUDIO MENU〉の調整値	○	○	○	
〈WHITE BALANCE MENU〉の調整値	○	○	○	
〈EXT. SYNC MENU〉の調整値	○	○	○	
〈MEMORY RECALL MENU〉の設定値	—	—	—	
〈MEMORY SET MENU〉	SETTING	—	—	
	ZOOMING	—	—	
	VIDEO	—	—	
	PROTECT	○	—	○
	CLEAR	○	—	—
〈OPTION 1 MENU〉の調整値	○	○	○	
〈OPTION 2 MENU〉	ZOOM AF	○	○	○
	232C SW	○	○	○
	BAUD RATE	○	○	○
	POINTER	○	—	○
資料／ベース照明状態	—	—	—	
入力選択状態	—	—	—	
ポジ／ネガ状態	—	○	○	
カラー／白黒状態	—	○	○	
マニュアル・アイリス調整状態	—	—	—	
フリーズ状態	—	—	—	
画像メモリーの内容	影響なし		影響なし	
ZOOM位置	—	—	—	

※1 〈MAIN MENU〉を正常に閉じた時の設定状態が保存されます。  
電源を再度ONした時、その保存された設定内容で作動します。

※2 SETTING [1] [2] の記憶内容を初期化する場合は、〈SETTING〉 → 〈INI.〉とした状態で  
〈MEMORY SET〉 → 〈SETTING〉 → [1] あるいは [2] とします。

## ○ビデオポインター

リモコンの [ポインター] (POINTER) ボタンでビデオポインターを表示します。  
矢印ボタンでビデオポインターが移動します。  
再度、リモコンの [ポインター] ボタンを押すとビデオポインターは消えます。

マウスの左ボタンをクリックするとビデオポインターが表示されます。  
マウスを移動させるとビデオポインターも移動します。  
ビデオポインター表示中にマウスの左ボタンをクリックすると、ビデオポインターは消えます。

## ○ビデオポインターの矢印・色の設定

・メニュー順序 <MAIN MENU> → <OPTION2 MENU> → <POINTER>

<POINTER> において [→] ボタンで矢印の方向が変わります。  
(4種類：↑、↓、→、←)

<POINTER> において [←] ボタンで色が変わります。  
(4種類：赤、青、緑、黄)

## ○電子画像拡大

映像の2倍拡大をします。

リモコンの [2×] ボタンで映像の中央部が2倍に拡大されます。

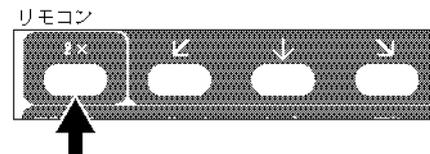
リモコンの矢印ボタンで画面がスクロール（移動）します。スクロールの範囲は、本体カメラの撮影範囲内のみです。

マウスの右ボタンをクリックしても映像は2倍拡大されます。

2倍拡大中にマウスの右ボタンをクリックすると、元の映像に戻ります。

ビデオポインターを画面の隅にあてていると、映像がその方向にスクロールします。

ビデオポインターを表示しているときに [2×] ボタンを押すと、ビデオポインターをほぼ中心とした範囲で2倍拡大されます。拡大の範囲は、本体カメラの映像範囲内のみです。

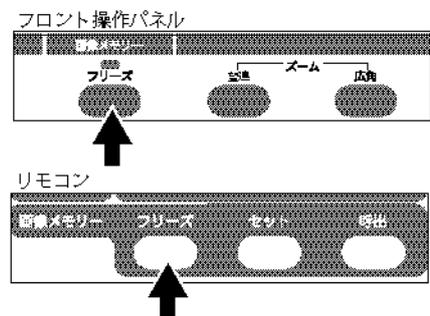


## ○フリーズ

フロント操作パネルまたはリモコンの [フリーズ] (PAUSE) ボタンを押すと本体カメラの映像が静止します。

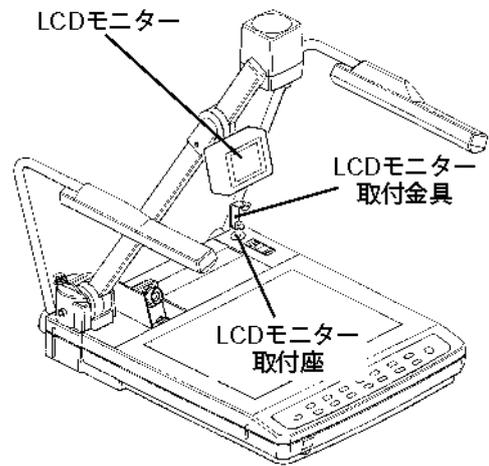
再度 [フリーズ] (PAUSE) ボタンを押すと、フリーズが解除されます。

[注] 画像がフリーズ状態の時は、電子画像拡大およびスクロール機能は無効になります。画像拡大にして、フリーズをした場合、フリーズを解除しないと、画像拡大の画面は、通常画面に戻りません。



## ○LCDモニター取付座について

LCDモニターを取付けるときに、LCDモニター取付金具を本機に取付けるための座です。接続方法、接続コード等は、LCDモニターの取扱説明書を参照してください。



## 7. システム展開について

### ○外部同期の調整 〈EXT. SYNC MENU〉

外部同期の調整は本機を複数台またはビデオカメラ装置等（TRV-35H、TRV-16Hも含む）の映像をミックスして1台のモニターに映し出す場合に必要となります。

本機およびビデオカメラ等の画像を揃えるためには水平同期位相調整とサブキャリア位相調整が必要となります。映像のミックス再生にはビデオミキサーが必要となります。接続方法については各種ビデオミキサーによって異なりますので、それぞれのビデオミキサーの説明書をご覧ください。

#### ●水平同期位相調整

- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈EXT.SYNC MENU〉 → 〈H PHASE〉

外部同期のとき、水平位相を合わせるために調整します。

112ステップの調整です。

#### ●サブキャリア位相調整

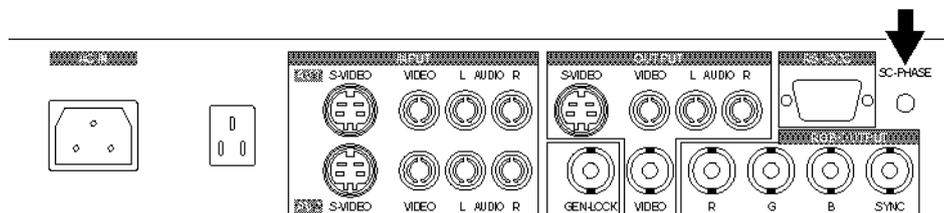
- ・メニュー順序 〈MAIN MENU〉 → 〈EXT.SYNC MENU〉 → 〈SC PHASE〉

外部同期のとき、本機の映像出力信号の色調を基準信号に合わせる場合に調整します。

基準信号の色相に合うように〈SC PHASE〉メニューにて90°ごとの設定をし、映像色調が最も近い状態にします。

さらに背面パネルの色相調整ボリューム [SC-PHASE] で微調整します。

ボリューム形状に合ったマイナスドライバーなどで調整してください。



## 8. RS-232Cについて

RS-232C端子 [RS-232C] をパソコンに接続することにより、本機をパソコン側から制御することができます。

### ○セットアップの方法

(1) 本機とパソコン間をRS-232Cケーブルで接続してください。

[注] 市販のRS-232Cケーブルを使用する場合は、次ページの結線になっていることを確認してからお使いください。

[注] 本機およびパソコンを保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

(2) OSDメニューの〈MAIN MENU〉→〈OPTION2 MENU〉→〈232C SW〉の項目を、[→] [←] ボタンで〈PC〉に変更してください。

〈BAUD RATE〉が表示されます。[→] [←] ボタンでボーレイトを設定してください。

(3) パソコンを起動してRS-232Cの通信方式を本機の通信方式と同じになるように設定してください。

[注] RS-232C通信方式の設定は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

(4) パソコンより本機を動作させるプログラムを起動します。

(5) RS-232C制御が開始します。

[注] 通信制御をするときは、必ず上記の順序でセットしてください。

### ○ボーレイト（通信速度）の設定

ボーレイトの設定は、OSDメニューの〈MAIN MENU〉→〈OPTION2 MENU〉→〈BAUD RATE〉で設定します。

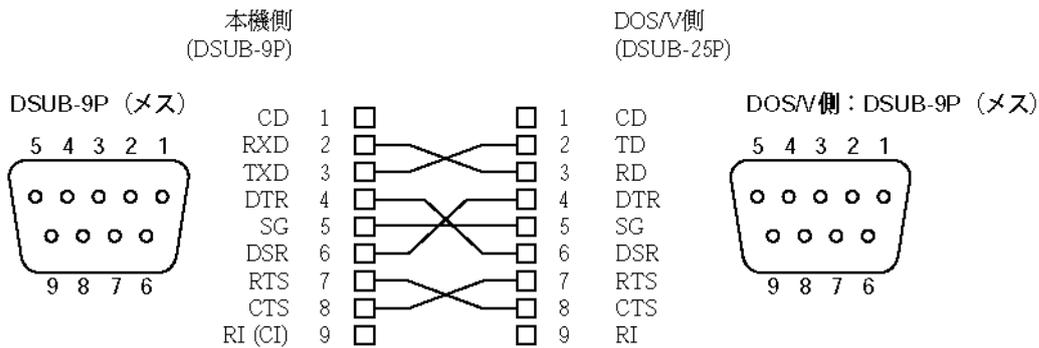
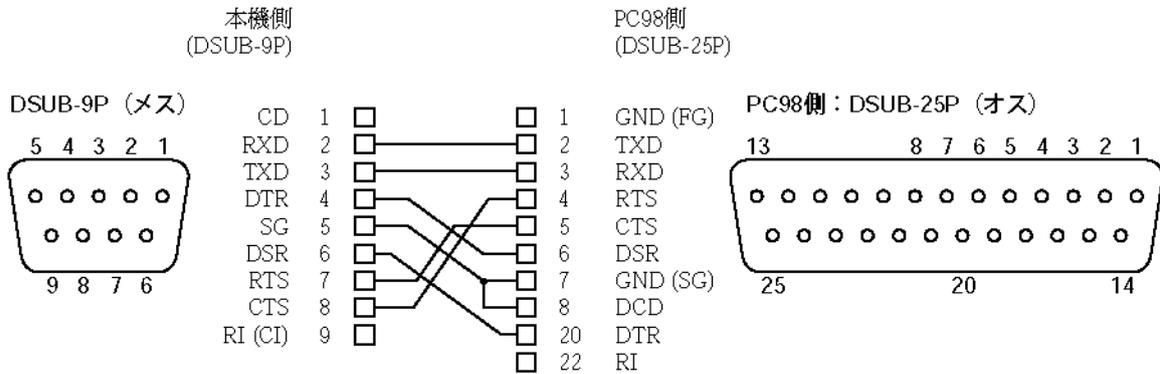
ボーレイトの設定後、OSDメニューを終了してください。

初期値は 9600bps です。

[注] 〈232C SW〉が〈PC〉になっていないと〈BAUD RATE〉メニューは表示されません。

ご使用になるパソコンと同じ設定にしてください。

## ○接続ケーブルの結線方法



## ○RS-232Cコネクタ仕様 (DSUB-9P)

ピンNo.	略称	名 称	データの方向		備 考
			本機	パソコン	
1	CD	キャリア検出	—	—	CD : Carrier Detect
2	RXD	受信データ	←	←	RXD : Received Data
3	TXD	送信データ	→	→	TXD : Transmitted Data
4	DTR	端末準備完了	→	→	DTR : Data Terminal Ready
5	SG	通信用接地	—	—	SG : Signal Ground
6	DSR	データ準備完了	←	←	DSR : Data Set Ready
7	RTS	送信要求	→	→	RTS : Request To Send
8	CTS	送信許可	←	←	CTS : Clear To Send

## ○通信コマンド一覧表

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
オートフォーカス	AF	0	■■■	ワンショットオートフォーカスをするコマンドです。
フォーカス調節	FO	+ (NEAR) - (FAR) 0 (STOP)	■■■	フォーカス調整をするコマンドです。
ズーム調節	ZO	+ (TELE) - (WIDE) 0 (STOP)	■■■	ズームを調整するコマンドです。
アイリス調節	IR	+ (OPEN) - (CLOSE) 0 (STOP) 1 (AUTO)	■■■	アイリス調整をするコマンドです。
照明切換	PL	0 (OFF) 1 (BASE) 2 (UPPER)	■■■	照明装置の切換えをするコマンドです。
入力切換	AV	0 (MAIN) 1 (AV1) 2 (AV2) 3 (SUB)	■■■	入力システムの切換えをするコマンドです。
ポジ／ネガ 切換	NP	0 (POSI) 1 (NEGA)	■■■	ポジ／ネガ反転をするコマンドです。
カラー／白黒 切換	CB	0 (COLOR) 1 (B&W)	■■■	カラー／白黒切換えをするコマンドです。
ビデオポイン ター表示	PO	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	ビデオポインターの表示をON/OFFするコマンド です。
拡大画像移動	PM	0 (STOP) 1 (→) 2 (←) 3 (↑) 4 (↓) 5 (↗) 6 (↖) 7 (↘) 8 (↙)	■■■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオポインター表示がONの時 ビデオポインターが移動します。</li> <li>・画像拡大がONの時 拡大画像が移動します。</li> <li>1：右側に移動</li> <li>2：左側に移動</li> <li>3：上側に移動</li> <li>4：下側に移動</li> <li>5：右上に移動</li> <li>6：左上に移動</li> <li>7：右下に移動</li> <li>8：左下に移動</li> </ul>

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
画像拡大	MA	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	画像を拡大するコマンドです。ビデオポインターの表示位置を中心としたエリアを2倍に拡大します。
画像記憶／ 表示	CE	0 (COMP.) 1 (EXTE.) 2 (CLEAR)	01～07	画像を圧縮伸張するコマンドです。 0：記憶（圧縮） 1：表示（伸張） 2：消去
フリーズ	FZ	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	映像を静止させるコマンドです。
ローカル ロックアウト	LL	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	フロント操作パネルのスイッチおよびリモコンを無効にするコマンドです。
デフォルト	DF	0 0	■■■	初期設定の状態に戻すコマンドです。
ステータス 要求	QS	0 1	■■■	機器の状態を問い合わせるコマンドです。
ROM バージョン	QR	0	■■■	ROMバージョンを参照するコマンドです。
応答データ 選択 1	SA	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	各操作コマンドに対する応答の有無を選択するコマンドです。デフォルトはONです。
応答データ 選択 2	SC	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	応答データの終わりにCR [0Dh] をつけるコマンドです。デフォルトはOFFです。

[注] データ中の「■■■」の部分は、SPACE [20H] を2回送信してください。

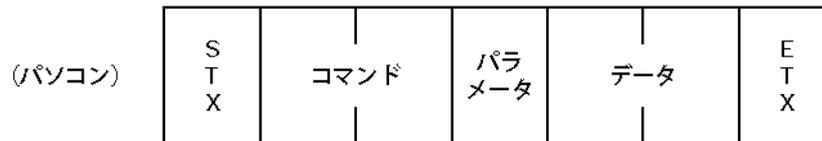
## ○データフォーマット仕様

このコマンドは1コマンド/1パケットの形態で行います。1つの処理を行わない限り次のコマンドは受け付けません。

- ・通信コマンドは必ずSTX (Start of Text) で始まり、ETX (End of Text) で終わります。
- ・通信フォーマットの形式やコマンド名が間違っていると本機からNAK (異常受信: Negative Acknowledge) が送られ、正常応答しません。
- ・通信フォーマットが正しく送られると本機からACK (正常受信: Acknowledge) が送られます。

### ●操作コマンド (パソコン→本機)

各操作コマンドはすべてASCIIコードで行い、下記のように7バイトを1セットとして送信します。



(本体) → ACK

以下の場合NAKが送信されます。

- ・CE0 (記憶) コマンドで画像がプロテクトされている場合。
- ・CE0 (記憶) コマンドで画像メモリーが呼び出されている場合。
- ・CE1 (表示) コマンドで画像がメモリーされていない場合。
- ・CE2 (消去) コマンドで画像がプロテクトされている場合。

● 応答データフォーマット (本機→パソコン)

- ・ステータス要求 (パラメータ 0)

		照明切換	入力切換	ポジ /ネガ	カラー /白黒	ポインタ 表示	画像 拡大	フリーズ	ローカル ロックアウト	
(本体)	S T X	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	E T X

- ・ステータス要求 (パラメータ 1)

		表示画像 No.	1	2	3	4	5	6	7	
(本体)	S T X	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	E T X

- ①～⑧ . . . . . 通信コマンドのパラメータに対応
- ⑨ . . . . . 0 (OFF)、1～7 (画像No.)
- ⑩～⑯ . . . . . 0 (メモリーなし)、1 (メモリーあり)、P (プロテクト)

- ・ROMバージョン

	V	I	K	N	*	*		
(本体)	S T X	56H	49H	4BH	4EH			E T X

## ○通信仕様

- ・全二重調歩同期方式
- ・スタービット : 1ビット
- ・データビット : 8ビット
- ・ストップビット : 1ビット
- ・パリティビット : なし
- ・Xパラメータ : なし
- ・ボーレート (通信速度) : 2400bps、4800bps、9600bps、19200bps、38400bps

## ○接続について

RS-232Cケーブルが本機とパソコンに正しく接続されていない場合には無応答になります。  
RS-232Cケーブルは正しく接続し、コネクタ止めネジで確実に固定してから動作させてください。

## 9. 照明ランプ（蛍光ランプ）について

照明ランプ（蛍光ランプ）は消耗品ですので、チラツキだしたり暗くなったときは取り換えてください。

[注] ランプの交換は、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店、営業所までご相談ください。

## 10. 故障かな？と思ったら

現象	この点を確認してください
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しくビデオケーブルが接続されていますか。</li> <li>・電源プラグが壁側コンセントからはずれていませんか。</li> <li>・電源コードが本機の電源受け口からはずれていませんか。</li> <li>・電源スイッチが入っていますか。</li> <li>・ズームが望遠になって映している資料の白い部分（または黒い部分）だけを見ていませんか。</li> <li>・電源スイッチをOFFにした直後にONした場合は、機器が作動しないことがあります。電源OFF後、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。</li> <li>・サブカメラの場合…アイリスリングが絞りきり（全閉）になっていませんか。</li> </ul>
画像のピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿（被写体）がレンズに近づきすぎ、ステージ面から10cm以上の高さになっていませんか。</li> <li>・広角（ワイド側）でピントを合わせたのち、ズームを望遠側にしていませんか。 ピントは望遠最大の所で合わせてください。</li> <li>・オートフォーカスの場合、ピントが合わせにくい場合があります。</li> </ul>
照明ボタンを押してもすぐに点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランプ保護のため、約2秒間予熱をした後点灯させています。故障ではありません。</li> </ul>
映像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明が不足していませんか。資料照明ボタンを押してランプを点灯してください。</li> </ul>
入力切換えができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Sビデオの入力に対してコンポジットビデオ出力をモニター接続していませんか。 (あるいはその逆の接続をしていませんか。切換え一覧表を参照してください。)</li> </ul>
印刷物の映像に縞模様が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷物の網点とテレビの走査線の干渉縞ではありませんか。</li> </ul>
画像にフリッカが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50Hzで点灯している放電管の光が画面に入っていませんか。 シャッターを1/100sにすると軽減される場合があります。 (P.9、P.34 参照)</li> </ul>

以上のことをお確かめのうえ、異常があるときは、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

## 11. 仕様

### ●総合仕様

項目	内容		
電源	AC100V 50Hz/60Hz		
消費電力	48W		
ACコンセント	1個 (最大400Wまで/電源スイッチ非連動)		
外形寸法	幅400mm 奥行542mm 高さ165mm (収納時) 幅700mm 奥行542mm 高さ610mm (セットアップ時)		
質量	9kg (本体のみ)		
TV方式	NTSC方式準拠		
入力選択	本体/サブカメラ/外部2系統		
出力端子	コンポジットビデオ	RCAピンジャック/75Ω不平衡	×1
	出力	BNCコネクタ/75Ω不平衡	×1
	Sビデオ出力	ミニDIN 4Pコネクタ/75Ω不平衡	×1
	R/G/B/SYNC出力	BNCコネクタ/75Ω不平衡 (本体カメラ映像のみ)	×1組
	音声出力 (ステレオ)	RCAピンジャック/適合インピーダンス10kΩ以上 -10dB	×1組
入力端子	Sビデオ入力	ミニDIN 4Pコネクタ/75Ω不平衡	×2
	コンポジットビデオ	RCAピンジャック/75Ω不平衡	×2
	外部同期入力	BNCコネクタ/75Ω不平衡	×1
	音声入力 (ステレオ)	RCAピンジャック/適合インピーダンス10kΩ以上 -10dB	×2組
	マイク入力 (モノラル)	径 6.3mmジャック/適合インピーダンス600Ω -65dB	×1
外部制御端子	RS-232C	DSUB 9P コネクタ オス	×1

### ●本体カメラ部仕様

項目	内容
撮影レンズ	f=5.8mm~70mm (12倍ズーム) F1.9~2.6
撮像範囲	最大 横350mm 縦260mm 最小 横34mm 縦26mm
焦点調節可能範囲	ステージ面~ステージ面上100mm ∞~1.1m (カメラ横向き・クローズアップレンズなし)
ズーム	電動 (倍速機能付)
フォーカス	AF (2モード) / 電動
アイリス	自動 (レベル調節可能) / マニュアル

●本体カメラ部仕様 (続き)

項目	内容
撮像素子	インターライン転送1/3インチ カラーCCD
有効画素数	水平768 垂直494
総画素数	水平811 垂直508・・・41万画素
映像信号処理	デジタルシグナルプロセス (DSP)
同期方式	内部/外部 (自動切替)
解像度	水平470TV本以上 (Y信号計測) 垂直350TV本以上
S/N	48dB (ディテール調整最小時)
映像出力レベル	コンポジットビデオ VBS 1.0 V (P-P) /75Ω不平衡
	Sビデオ Y 0.714 V (P-P) /75Ω不平衡 C 0.286 V (P-P) /75Ω不平衡
	SYNC 2.5 V (P-P) /75Ω不平衡
	G ON SYNC 0.286 V (P-P) /75Ω不平衡
	外部同期引込周波数
外部同期入力レベル	VBS (75Ω不平衡) SYNC部: 0.3V±0.1V、バースト部: 0.3V±0.1V
水平同期位相調整	マニュアル調整可能 (調整範囲0μs~10μs)
サブキャリア位相調整	マニュアル調整可能 (調整範囲0°~360°)
ホワイトバランス	フルオート/ユーザーオート/ワンプッシュ/マニュアル
色ゲイン調整	可能
色相調整	可能
電子シャッター	OFFモード (1/60s) /FLモード (1/100s) /HSモード (1/100s~1/10,000s)
ネガ/ポジ反転	可能 (コンポジットビデオ、Sビデオ、RGB)
カラー/白黒切替	可能 (コンポジットビデオ、Sビデオ、RGB)
AGC	OFF/6dB/12dB/18dB選択可能
BLC	OFF/AUTO/MODE1/MODE2/MODE3選択可能
ディテール調整	可能
ペダスタル調整	可能
画角プリセット	2ポジション、メモリー有
フリーズ	可能
画像メモリー	可能 (画像圧縮7画面)
電子画像拡大	可能 (2倍、スクロール可能)
ポインター	ワイヤレスリモコン、マウスおよびRS-232Cで制御可能 矢印種類4種、色4種選択可能

●サブカメラ部仕様

項目	内容
撮影レンズ	f = 4.3mm F1.9
撮像素子	インターライン転送1/3インチ カラーCCD
有効画素数	水平768 垂直494
総画素数	水平811 垂直508・・・41万画素
映像処理信号	デジタルシグナルプロセス (DSP)
同期方式	本体カメラに同期
映像出力レベル	コンポジットビデオ VBS 1.0 V (P-P) /75Ω不平衡
	Sビデオ Y 0.714 V (P-P) /75Ω不平衡
	C 0.286 V (P-P) /75Ω不平衡

●照明装置

項目	内容
資料照明	高周波点灯方式、3波長蛍光ランプ 6W (型名：FHL6EX-N)
ベース照明	高周波点灯方式、3波長蛍光ランプ エリアサイズ横296mm 縦216mm

●付属品

名称	数量
電源コード	1
ビデオ/オーディオケーブル	1
マウス	1
赤外線ワイヤレスリモコン (RCW-602)	1
リモコン和文操作パネル	1
単4形乾電池	2
ダストカバー	1
サブカメラ用延長ケーブル	1
EV-601AF取扱説明書	1
EV-601AF保証書	1
4型TFT液晶カラーモニターキット	1
モニター取付金具	1

●別売りオプション

- ・赤外線AV伝送ユニット「AVT-10」

[注] RCAピンはEIAJ RC-6703準拠のピンプラグを使用してください。

[注] 仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

## ご 注 意

スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。

この装置は、商工業地域で使用されるべき情報装置です。住宅地、またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に、受信障害を与えることがあります。

# 株式会社 エルモ社

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社営業所へ

本 社	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	TEL (052) 811-5131
東京本部	〒108-0073	東京都港区三田3丁目7番16号	TEL (03) 3453-6928
東京支店	〒108-0073	東京都港区三田3丁目7番16号	TEL (03) 3453-6471
大阪支店	〒540-0039	大阪府中央区東高麗橋2番4号	TEL (06) 942-3221
名古屋支店	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	TEL (052) 824-1571
横浜営業所	〒240-0023	横浜市保土ヶ谷区岩井町11番地 ダイアナプラザ保土ヶ谷411室	TEL (045) 333-9142
九州営業所	〒812-0027	福岡市博多区下川端町10番10号	TEL (092) 281-4131
北海道営業所	〒001-0012	札幌市北区北12条西2丁目4番地	TEL (011) 717-7221
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央4丁目10番14号エノトセーフビル1階	TEL (022) 266-3255
広島営業所	〒730-0037	広島市中区中町8番12号広島グリーンビル5階	TEL (082) 248-4800